

■コメント

1. インフルエンザ

定点当たり40.4人と、前週と比べてやや減少しましたが、依然警報レベルを超えています。インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等も小学校を中心に続いており、第5週は44件報告されています。

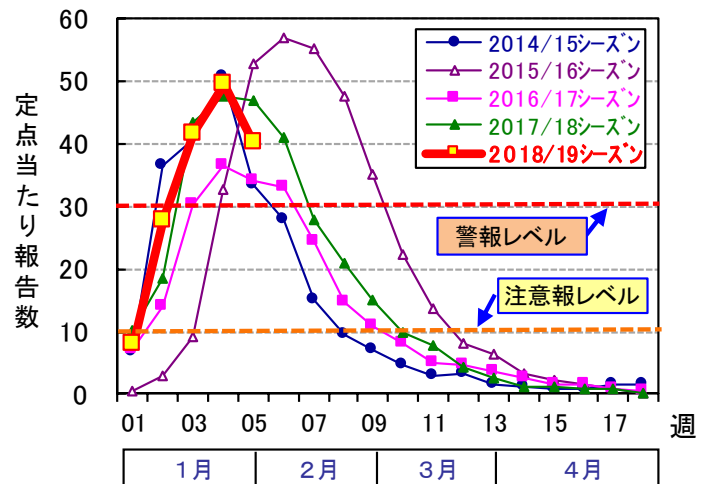
報告数の多い状況が続いていますので、引き続き、健康管理に十分注意し、流水・石けんによる手洗いや咳エチケットの励行、人混みへの外出は控えるなどの対策を徹底しましょう。また、症状などからインフルエンザが疑われる場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

2. 感染性胃腸炎

定点当たり8.50人と、前週と比べてやや増加しました。ノロウイルスによる感染性胃腸炎の集団発生も1件報告されています。

手洗いの励行、便・吐物の適切な処理など、感染予防対策を徹底しましょう。

インフルエンザの流行状況



【参考】厚生労働省 インフルエンザ(総合ページ)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/infuenza/

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号
小児科	インフルエンザ	1493	40.35	37.64	急増	小児科	流行性耳下腺炎	4	0.17	0.51	急増
	咽頭結膜熱	10	0.42	0.29	急増	小児科	RSウイルス感染症	8	0.33	0.44	急増
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	63	2.63	2.55	急増	小児科	急性出血性結膜炎	-	-	-	急増
	感染性胃腸炎	204	8.50	7.41	急増	小児科	流行性角結膜炎	3	0.38	0.38	急増
	水痘	2	0.08	0.55	急増	小児科	細菌性髄膜炎	-	-	-	急増
	手足口病	-	-	0.18	急増	小児科	無菌性髄膜炎	-	-	0.06	急増
	伝染性紅斑	5	0.21	0.27	急増	小児科	マイコプラズマ肺炎	2	0.29	0.11	急増
	突発性発しん	3	0.13	0.32	急増	小児科	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	急増
	ヘルパンギーナ	-	-	0.03	急増	小児科	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0.14	0.29	急増

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	4	13	女性(40歳代)、男性(60歳代)、女性(60歳代)、男性(70歳代)
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	1	男性(60歳代)
5	梅毒	2	8	男性(20歳代)、男性(30歳代)
5	百日咳	3	5	女性(10歳未満)、女性(10歳代)、男性(20歳代)

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			インフル エンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス 感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス) 感染性胃腸炎
報告数	広島市	第1週	273	2	21	98	5	－	2	－	－	4	9	－	6	－	－	2	－	2
		第2週	1,033	8	65	260	15	－	7	10	1	6	12	－	6	－	－	1	－	2
		第3週	1,545	2	52	153	4	5	5	4	－	3	12	－	2	－	－	－	－	－
		第4週	1,834	2	83	158	5	2	2	8	1	1	13	－	3	－	－	－	－	－
		第5週	1,493	10	63	204	2	－	5	3	－	4	8	－	3	－	－	2	－	1
定点 当たり	広島市	第1週	8.03	0.09	0.95	4.45	0.23	－	0.09	－	－	0.18	0.41	－	0.75	－	－	0.29	－	0.29
		第2週	27.92	0.33	2.71	10.83	0.63	－	0.29	0.42	0.04	0.25	0.50	－	0.75	－	－	0.14	－	0.29
		第3週	41.76	0.08	2.17	6.38	0.17	0.21	0.21	0.17	－	0.13	0.50	－	0.25	－	－	－	－	－
		第4週	49.57	0.08	3.46	6.58	0.21	0.08	0.08	0.33	0.04	0.04	0.54	－	0.38	－	－	－	－	－
		第5週	40.35	0.42	2.63	8.50	0.08	－	0.21	0.13	－	0.17	0.33	－	0.38	－	－	0.29	－	0.14
	全国	第3週	53.91	0.27	2.06	6.54	0.27	0.17	0.88	0.31	0.01	0.09	0.36	－	0.65	0.02	0.02	0.23	－	0.06
		第4週	57.09	0.32	2.50	6.88	0.36	0.13	0.87	0.30	0.02	0.08	0.43	0.01	0.67	0.01	0.02	0.27	－	0.09

■新たに判明した病原体検出状況

(検査:広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(38.5) 鼻炎	6	男	2018/12/25	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
インフルエンザ	発熱(38.5) 咽頭炎	20	女	2018/12/25	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスA(H3)型
インフルエンザ	発熱(39.0)	7	男	2018/12/26	鼻汁	B型インフルエンザウイルス
流行性角結膜炎	結膜充血 眼脂 眼瞼腫脹	30	男	2018/12/01	結膜擦過物	アデノウイルス37型
流行性角結膜炎	結膜充血 眼脂	38	女	2018/12/26	結膜擦過物	アデノウイルス3型
その他の呼吸器疾患	発熱(40.0) 扁桃腺炎	2	男	2018/11/28	鼻汁	アデノウイルス2型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

★麻しん(はしか)に注意しましょう！

福山市及び府中市において、麻しん(はしか)患者の報告がありました。今後、広島県内でさらに患者が発生する可能性があります。注意が必要です。

麻しんの感染予防にはワクチン接種が最も有効です。定期予防接種(無料)対象の方は早めに接種しましょう。また、過去に麻しんにかかったことがない方、予防接種を受けていない方は、かかりつけの医師に相談し、ワクチン接種を検討しましょう。

なお、2月3日現在、広島市では麻しんの報告はありません。

最新情報等については、以下のURLからご確認ください。

- ・広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC)HP「府中市内における麻しん(はしか)患者の発生について」
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>
- ・福山市HP「福山市内での麻しん患者の発生について」
<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/soshiki/hokenyobo/141665.html>

【参考】

- ・麻しんについて(厚生労働省)
https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/measles/index.html
- ・麻しん(はしか)に要注意！(健康推進課)
<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/1298598729846/index.html>

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2019年第5週(1月28日～2月3日)